



2024年5月9日

各 位

〔会社名〕 極東貿易株式会社
〔代表者名〕 代表取締役社長 岡田 義也
(コード番号 8093 ・ 東証プライム)
〔問合せ先〕 経営企画室長 藤川 尚子
(TEL. 03-3244-3745)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2022年3月期から2026年3月期を対象とする5か年の中期経営計画「KBKプラスワン2025」を2021年5月10日に公表しておりましたが、2024年5月9日の取締役会において、事業環境の変化に対応した業績の進捗状況を踏まえ、計画の最終年度となる2026年3月期の数値目標を見直すことを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

当グループは、カーボンニュートラルなどのグローバルな事業環境の変化に対応し、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指すため中期経営計画「KBKプラスワン2025」を2021年5月に発表いたしました。

「KBKプラスワン2025」では、2022年3月期から2024年3月期までを事業環境の変化に対応するための「変革期」(Phase I)、2025年3月期から2026年3月期までをかかると見込まれる成長基盤を生かした「発展期」(Phase II)と定義しております。2024年3月期までのPhase Iにおいては、計画で掲げた重点戦略に沿って、事業ポートフォリオの最適化、新規事業分野へリソースの配置、また株主価値に資する資本政策の実行など、目標の達成に向けて様々な施策を着実に推し進めてまいりました。2024年3月期においては、当グループは新型コロナウイルス禍の影響からようやく脱した中で、開発投資等を計画的に実行し、受注動向は着実に上振れるなど、収益改善への成果が現れてきております。

しかしながら、ウクライナ情勢によるロシア事業の消失、中国経済の落ち込み、M&Aをはじめとする成長投資の遅れなどから、中期経営計画「KBKプラスワン2025」で掲げた目標値と実績値及び予想値には乖離が生じる結果となっております。

以上のような事業環境の変化を踏まえ、中期経営計画最終年度となる2026年3月期の数値目標を見直すことといたしました。

2. 数値目標（2026年3月期目標値）の修正内容

	当初目標	見直し目標
連結経常利益	25億円	19億円
ROE	8%	5.4%

なお、数値目標の一つとして掲げた「M&A等投資枠として計画期間5年間で総額50億円」の設定はそのまま継続し、引き続き成長投資による企業価値向上に取り組んでまいります。

3. 積極的な株主還元方針

当社は、株主の皆様への継続的な成果の還元と企業価値の持続的向上を実現するため、適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施することを利益配分の基本方針としており、2025年3月期の配当は1株当たりの年間配当金を70円とし、中間配当金35円、期末配当金35円を予定しております。また、中期経営計画の最終年度である2026年3月期につきましても、上記株主還元方針により1株当たりの年間配当金70円を下限として配当を行う方針といたします。

今後も当社は、中期経営計画「KBKプラスワン2025」で掲げた事業投資への注力を踏まえつつ、積極的且つ高い水準の株主還元を維持した安定的な配当を継続してまいります。

以上